

令和3年度 学校評価 について

学校評価は、学校運営や教育活動について重点目標を設定し、その達成状況や取り組みの適切さを評価することにより、組織的、継続的な改善を図ることを目的としています。

本校では、毎年4月から5月にかけて重点目標と評価項目を学校評価委員会にて決定し、その内容に沿った教育に取り組んでいます。令和3年度は、年間2回（10月、2月）教員による自己評価を行い、さらに保護者の皆様を対象にしたアンケート調査（12月）を実施いたしました。保護者については833名（在籍の62%）の方からご回答を頂戴いたしました。

その集計結果を受けて考察・分析し、令和4年3月4日には、PTA役員様ご出席のもと、学校関係者評価委員会を開催いたしました。

以下に、委員会等を経てまとめた資料を掲載いたします。

令和3年度 学校評価 (結果と考察 報告)

1. 教育目標・教育方針

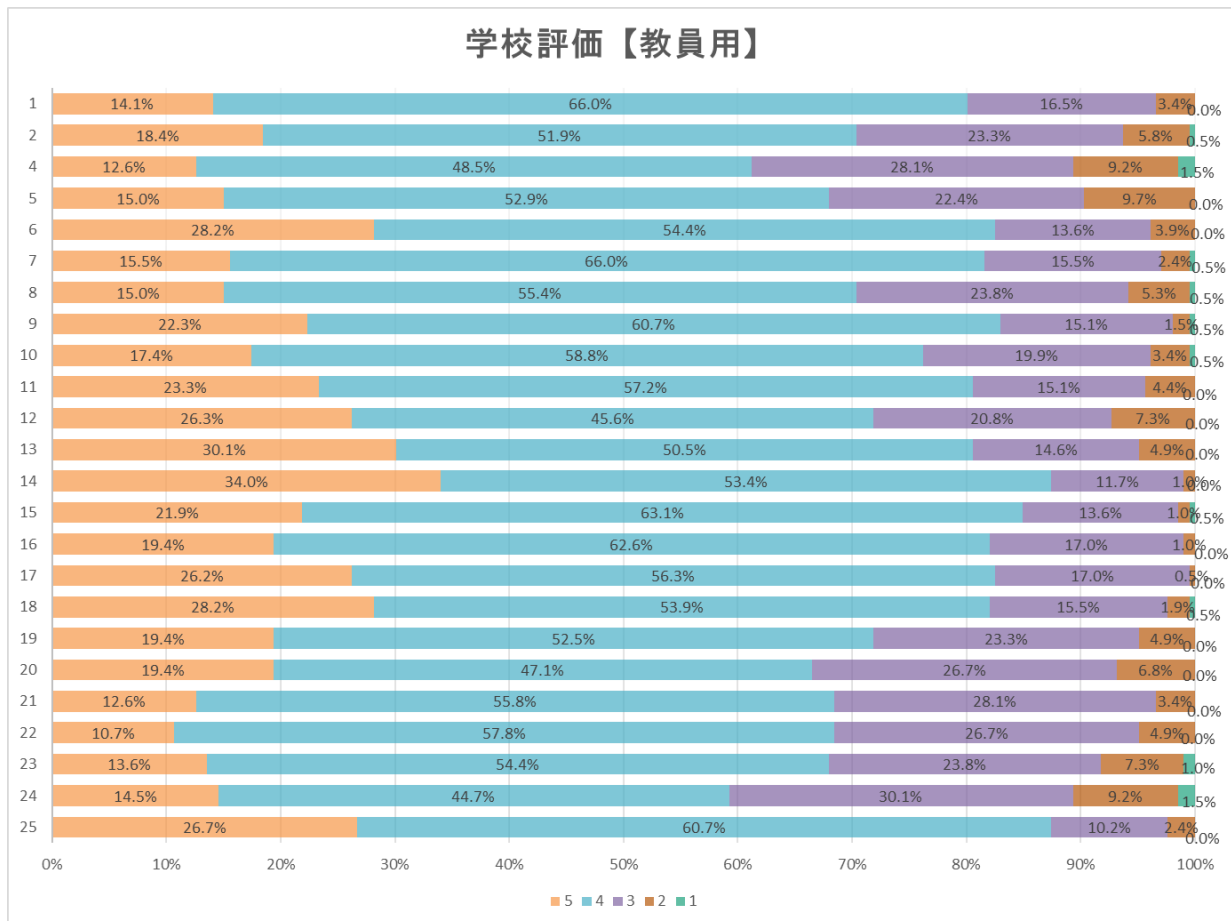
教育目標	人間としての尊厳を基盤とし、社会の変化に適応して生きる知恵と力を身につけ、高い倫理観と自主的な行動力を持つ有為な人間の育成を目標とする。
教育方針	(1)個性を伸ばす教育 多様な教育課程、わかる授業の実践により、生徒一人ひとりの適性や進路に応じて個性を伸ばし豊かな創造力を育てる。
	(2)自主性を育てる教育 知識教育に偏ることなく、多様な学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場を通して生徒の自主性を養い、夢を実現させる行動力を育てる。
	(3)人間性を高める教育 マナー教育と奉仕活動を通して基本的な生活習慣や優しい心を養い、高い倫理観を育てる。

2. 学校評価【教員自己評価】結果

5:よくあてはまる 4:だいたいあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあ

評価項目		評価平均
学校運営	1 教育目標や教育方針を理解し、そのもとに指導を行っている	3.9
	2 資質向上のための機会や研修に積極的に参加している	3.8
	3 情報を共有し、魅力ある学校作りに教職員全体で取り組んでいる	3.7
	4 災害や緊急事態に備えた訓練や連絡系統が整備されている	3.6
	5 問題や悩みを抱える教職員や生徒への、理解と支援を行っている	3.7
	6 本校の魅力や情報の発信に努め、生徒数の安定確保を維持している	4.1
学習指導	7 教材研究に努め、年間計画に基づいた指導を行っている	3.9
	8 「授業評価」の結果を活用して授業の向上と改善に努めている	3.8
	9 生徒の理解度に応じた教材と学習を設定し、学力向上に努めている	4.0
	10 生徒の能力を適切かつ公正に評価している	3.9
生徒指導	11 保護者との連携のもと、基本的な生活習慣の確立に努めている	4.0
	12 英明生としての校則を遵守する指導をしている	3.9
	13 交通ルールなどの社会的規範を遵守する指導をしている	4.1
	14 いじめに対する措置を適切に行っている	4.2
進路指導	15 計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	4.0
	16 進路選択に有益な情報と資料の紹介をしている	4.0
	17 個々の適性や能力に応じた指導と助言ができています	4.1
	18 試験や入試に対応した適切な指導ができています	4.1
特別活動	19 有意義な生徒会活動を学校全体で支援している	3.9
	20 生徒が協力し積極的に取り組めるような学校行事を企画している	3.8
	21 LHRや学級経営を通して人権意識と道徳心を高める指導ができています	3.8
	22 マナーの定着を図り、健全な人間関係の構築に努めている	3.7
環境美化	23 教室の整理整頓、校内の清掃美化と緑化に積極的に取り組んでいる	3.7
学校図書館	24 適切な図書購入と情報提供を図り、読書推進に取り組んでいる	3.6
保健衛生	25 安全教育と、教職員及び生徒の健康管理に努めている	4.1
平均		3.9

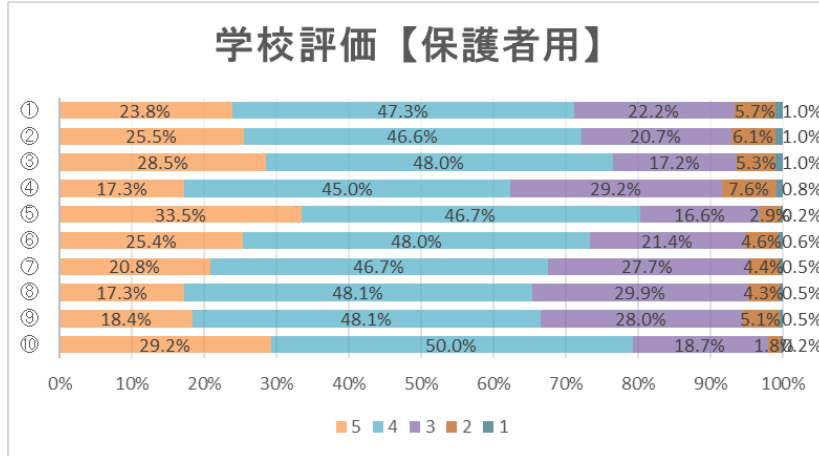
* 評価平均は、教員による年間2回の評価平均です。



3. 学校評価【保護者アンケート】結果

5:よくあてはまる 4:だいたいあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

		評価項目	評価平均
学校運営	1	各コース・系の特色を生かした学習活動等を通して、生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組んでいる	3.8
	2	家庭との連絡をきめ細かく行い、必要な時に相談に応じている	3.9
	3	各種の便りやホームページ等を通して、学校の取り組みや生徒の様子について適切に伝えている	3.9
学習指導	4	生徒の適性や能力を見極め、生徒が自ら学ぼうとする意欲を引き出し、学力向上につながる授業を行っている	3.7
生徒指導	5	基本的な生活習慣の確立に努め、校則を遵守させる指導を行っている	4.1
進路指導	6	キャリア教育を通して、将来社会に貢献しようとする意欲と態度を育て、進路の実現に向けた適切な指導を行っている	3.9
	7	生徒が積極的に取り組めるように学校行事や部活動を盛んに行っている	3.8
特別活動	8	交通安全対策やいじめ防止に努めるなど、いのちの大切さを重んじた人権教育に取り組んでいる	3.7
	9	挨拶やマナー、道徳心を養うことにより他者を理解し、人間性を高める教育に取り組んでいる	3.7
環境美化	10	感染症防止対策の徹底や災害に対応できる防災教育を行うなど、生徒が健康で安全に過ごせるように環境を整えている	4.0
平均			3.9



4. 学校関係者評価委員会（3月4日）報告

各評価項目について、各担当から意見や考察を述べました。その主な項目の一部抜粋です。

・学校運営について（教員項目1、保護者項目1）

教育目標や教育方針は、本校の日々の教育活動の基本、根幹である。内容が抽象的な表現で、日々の取り組みに落とし込むことができているかという確認が難しいため、徐々にその意識が薄らぐ傾向が見られる。自然なこととして皆が行動できるよう、行事などの節目では、教職員間で内容を共有し、理解を一層深めていく必要性を感じる。今後、保護者・生徒へは、様々な活動を通して、発信を続けたい。

・学習指導について（教員項目9、保護者項目4）

本校では5つのコースを設けていて、コースに応じた授業時間、教育課程を決めている。ICT機器の導入もここ数年で進んだ。教科書もコースで異なる。また大学入試に向けた課外講座、得点不足の補習、学力に不安のある生徒への学力増進課外など様々な方法で生徒の理解度を高めようとする仕組みがある。しかしより多様な生徒へのサポートを考えることも必要な時期になっている。

・生徒指導について（教員項目12、保護者項目5）

保護者アンケートの「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」の回答を合わせた割合が学年が上がるごとに減っており、8割を下回った3年生については真摯に受け止めたい。全学年としては一定の評価を受けているが、校則を遵守する指導は教員間の統一した指導基準が不可欠である。また、時代の要請や生徒の状況に合わせた校則の見直しを具体的に進めていきたい。

・進路指導について（教員項目17、保護者項目6）

1・2年生には適性検査を実施し、適性に合った職業や学問分野を調べることができるような仕組みをつかった。進学希望者には、習熟度別授業や課外講座を実施し、個々の能力を最大限に伸ばせるよう努めている。就職希望者には、就職課外、適性検査や応募前の職場見学会を行うことでミスマッチや早期離職を防ぐ努力をしている。今後はさらに面談や保護者を含めた懇談の時間を十分確保し、進路についての意識をより高めたい。

・特別活動について（教員項目22、保護者項目9）

感染症予防に関連した新しい生活様式が求められてきた1年だったが、生徒たちは学校での呼びかけやご家庭の協力もあり、学校内外でのマナーは守れていたと感じている。また、直接的な人間関係が希薄になりがちなか状況の中、担任・副担任が中心となって、円滑な関係を構築できるよう生徒の言動に配慮してきた。

・環境美化について（教員項目23、保護者項目10）

校内各所の汚れや痛みが指摘されており、改善・改修が急務となっている。来年度にかけて、校内のトイレの改修工事が計画されている。全生徒・教職員の手で校内の美化と緑化（花と緑の学校づくり）に取り組み、教育の場にふさわしい環境を整えていきたい。中庭の緑のカーテン作りが評価されて「令和3年度 CO2CO2削減コンテスト in 香川」でCO2削減賞を受賞した。